

北陸地域の総合経済動向（概要）

令和3年9月22日
中部経済産業局
電力・ガス事業北陸支局

～一部に厳しい状況があるものの、持ち直している～

経済概況《令和3年7月指標を中心として》

- ・生産 上昇傾向となっている。 (→)
- ・個人消費 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。 (→)
- ・設備投資 緩やかに持ち直しの動きとなっている。 (→)
- ・住宅投資 下げ止まりとなっている。 (→)
- ・雇用 緩やかに持ち直している。 (→)

以上のことから、北陸地域の経済は、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。(→)

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の拡大、為替及び原油・原材料価格の動向、海外経済の影響などを注視していく必要がある。

【今月のポイント】

<生産>

鉱工業生産指数は、季節調整済指数で104.1となり、前月比1.2%増と2か月連続で上昇した。

上昇に寄与した業種品目は、(1)生産用機械工業の「半導体製造装置」、(2)汎用・業務用機械工業の「運搬装置」となった。

繊維工業は持ち直しの動き、金属製品工業は持ち直し、電子部品・デバイス工業、生産用機械工業は上昇傾向、化学工業は引き続き高水準を維持していることなどから、**全体として判断を据え置き、2か月連続で「上昇傾向」とした。**

(前月比:電子部品・デバイス工業+2.0%、化学工業+5.0%、生産用機械工業+8.7%、金属製品工業▲2.6%、繊維工業▲0.2%)

<個人消費>

商業動態統計は、2か月ぶりに前年を上回った。百貨店、ホームセンターは前年を下回ったものの、スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

乗用車販売は、5か月ぶりに前年を下回った。

個人消費全体では判断を据え置き、10か月連続で「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直し」とした。

(前年同月比:商業動態統計(全店ベース販売額)+4.0%、百貨店▲3.8%、スーパー-2.2%、家電大型専門店1.4%、ドラッグストア+8.2%、ホームセンター▲2.7%、コンビニエンスストア+6.9%、乗用車新規登録台数▲4.9%)

<雇用>

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、求人が求職を上回っている状況が続き、有効求人倍率は1.51倍と前月から0.02ポイント上昇(8カ月連続で上昇)し、新規求人数は5か月連続で前年を上回り、有効求人数も4カ月連続で上回ったことから、**判断を据え置き、5か月連続で「緩やかに持ち直し」とした。**

